

沿革

昭和17年 神戸市灘区大石中町に六日信仰社・洋服病院を作り、洋服の仕立なおし等から得た賃金を子どもの養育費にあてる。児童数4~5人、信者4人と張徳出牧師夫妻の奉仕による。

昭和20年 6月の神戸大空襲で家屋家財の一切を焼失。焼跡に毛布で囲った小屋をつくり子ども達との生活をつづける。

昭和21年 灘区倉石通3丁目にある青年篤志家より木造2階建20坪の家屋を提供され、子ども16人と共に転居。

昭和23年 児童福祉法による養護施設の認可をうける。

昭和23年 12月、灘区泉通4丁目27の現在地に木造2階建80坪余の家屋を購入し転居、児童数急増する。

昭和25年 宗教法人東洋救霊団、愛神愛隣舎とする。

昭和25年 5月、児童居室・食堂・浴場の増設を行う。児童数定員56人の増員が認可される。

昭和41年 社会福祉法人愛神愛隣舎として認可される。

昭和42年 1月、舎屋新築着工。

昭和43年 7月、新舎屋落成。

昭和59年 50坪の運動場(あそび場)の整備完了。

昭和61年 1月、社会福祉法人愛神愛隣舎後援会結成。

平成7年 1月、阪神淡路大震災により、舎屋一部損壊する。

平成8年 1月、舎屋の修復完了する。

平成17年 3月、舎屋の大規模改修を完了する。

平成19年 6月、舎屋の外壁改修を完了する。

平成21年 6月、心理療法室拡充及び児童居室等改修完了する。

平成28年 4月、分園型小規模グループホーム「和愛」開設

平成29年 10月、分園型小規模グループホーム「友愛」開設

養護児童

幼児・小学生・中学生・高校生・大学生・他 定員40人

職員

25名
 施設長・主任(1名)・事務長(1名)・基幹的職員(1名)・里親支援専門相談員(1名)・家庭支援専門相談員(2名)・個別対応職員(1名)・事務補佐(1名)・心理士(2名)・指導員及び保育士(10名)・栄養士、調理員等(4名)・他、嘱託医(1名)

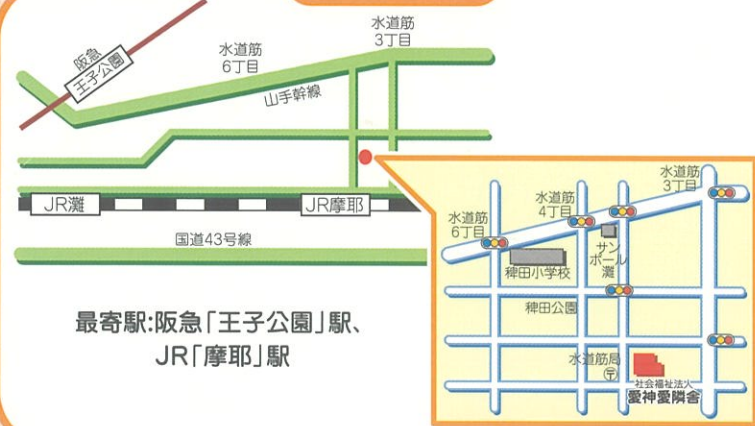
理事及び役員

理事6名(内1名を理事長とする)・評議員7名・監事2名

設備

敷地面積 577.94m²
 建物面積 鉄筋コンクリート造陸屋根5階建280.05m²
 延床面積 1,066.43m²
 建物概況 児童居室・食堂・厨房・学習図書室・面会室・静養室・職員室・舎長室兼応接会議室・多目的ホール・心理ケア室

Access



社会福祉法人 愛神愛隣舎

〒657-0834 神戸市灘区泉通4丁目4番5号
 TEL (078) 805-2201 / 861-2462 FAX (078) 861-9588
 E-mail : airinsha@galaxy.ocn.ne.jp http://www.airinsha.net/
 理事長 金 培錫 施設長 曹 徳善

児童養護施設 愛神愛隣舎



ともに信じあい・育ち・夢を育むところです

分園型小規模グループホーム「和愛」

分園型小規模グループホーム「友愛」

仲間とともに、たくましく成長していきます。

仲間がいる安心と自分を大切に出来る環境

児童憲章

児童は、人として尊ばれる。
児童は、社会の一員として重んぜられる。
児童は、よい環境のなかで育てられる



社会福祉

福音宣教 国際親善

兵庫県神戸市にある社会福祉法人愛神愛隣舎は「福音宣教」「社会福祉」「国際親善」の三本柱を理念とするキリスト教を主軸とした児童養護施設です。

施設の事業内容

児童福祉法に基づく児童養護施設で概ね2才から18才(場合により20才)までの社会的養育を必要とする児童の保護・育成を目的とし、リフレッシュ事業等の展開により地域社会に開かれた施設として、関係機関と連携を図りながら、児童の自立を支援します。さらに施設を巣立った児童のアフターケアにも力を入れています。また、本園とは別に近隣地域に2ヶ所の分園型小規模グループホーム「和愛」・「友愛」を開設し、よりきめ細やかな家庭養護に向けた支援を展開しています。

施設運営で大切にしていること

当舎では、キリスト教の精神を中心として、子ども達の人権を大切に、養護を尽くすと共に、入所児童一人ひとりの状況に応じた自立に向けての支援を進めています。又、児童・職員間の和を大切に、学習指導・生活指導においても力を注いでいます。

法人の特徴

充実した理事会の運営のもと、キリスト教を主軸とした社会福祉法人として、神戸の地に発足し約70年を迎えました。児童のQOL向上のため、常に援助を惜しまず努力を傾注しています。

施設見学受入：可 事前に問い合わせ下さい。

ボランティア受入：可

学習ボランティア・通いの支援等、事前に問い合わせ下さい。

愛神愛隣舎 の提供するサービス

学習・進路指導プログラム

子ども達の自立に必要な進路を確保するため、小学生の時から学習指導に力を注ぎ、高校進学は勿論のこと、希望する児童には大学進学も選択できるようにしています。それにより、子ども達が自分の将来に対する希望を持ち、落ち着いた生活が出来るようになります。

幼児教育プログラム

春・夏・秋・冬と季節を感じ取れる造形・歌・外遊びの実施を通して、子ども1人ひとりが意欲的になれるよう環境設定を図っています。

心理療法、音楽療法プログラム

常勤・非常勤の心理療法士を配置し、子ども達への心理的ケア(カウンセリング・プレイセラピー・アートセラピー等)を実施しています。また、大学院生によるメンタルフレンドを導入し、メンタルケアをさらに充実させたり、音楽療法の専門家グループを招き、音楽(リトミック・楽器演奏・手話ソング等)を通して子ども達と楽しく交流したり、心のケアやQOLの向上を目指します。

夏期
キャンプ



児童年間行事

- 4月 児童帰省日(1週間)・春休み行事(ハイキング等)・イースター(復活祭)行事
- 5月 子供の日行事・連盟主催ハイキング
- 7月 夏休み行事・夏期キャンプ(2泊3日)
- 8月 夏期バイブルキャンプ(3日間)
児童帰省日(2週間)・琵琶湖キャンプ・ボウリング大会・バーベキューパーティー
- 10月 秋の行事
- 11月 収穫感謝祭・連盟主催フットサル大会
- 12月 ルミナリエ
クリスマスパーティー・クリスマス祝賀会
- 1月 児童帰省日(1週間)
KOBEMO・未来号沖繩招待行事
- 2月 晴れ着プロジェクト
- 3月 中学生スキー大会・卒業お祝い会
送別会(退舎児童)

クリスマス



スポーツ大会

児童養護施設連盟等が主催するスキー・卓球・フットサル・バレーボール等のスポーツに触れる機会を確保すると共に、スポーツを通じて、心身共に豊かな成長を図ります。

日曜学校(キリスト教会)

日曜日は、地域の子ども達との交流をかねて、地域にあるキリスト教会の日曜学校に通い、教会の多様な行事「復活祭・野外礼拝(運動会)・バーベキュー行事・子供会・収穫感謝祭・クリスマス祝賀会等」にも地域の一員として参加し、活動しています。

デイ・ショートサービス (リフレッシュ子育てサービス)

保護者の方々のリフレッシュや疾病・介護・看護・就労等、さまざまなご家庭の事情で、短期の子ども達のケアを必要とされている場合の子育て支援サービスを実施しています。詳しくはお問い合わせ下さい。